

# 「お店やさん」—昭和のお買い物ものくらし—

スーパーマーケットやコンビニエンスストア、郊外の大型ショッピングセンターなどが発達した今、「お店やさん」という言葉は少しずつなじみのないものになっています。昭和30年代まで、店舗と住居が一体になっている近所の「お店やさん」は、人々の日常的な買い物の場所でした。

味噌やしょうゆ、油、肉、魚、野菜、なんかやさんの駄菓子なども、お客が希望する分を、はかりで量って売り買いしていました。お店やさんの店員が家に注文を取りに来て、希望の商品を家まで配達してくれることもありました。

昭和30年代以降、電気冷蔵庫や自家用車が普及すると、スーパーマーケットで、ガラスビンやプラスチック容器に詰められ

た商品を、セルフサービスで、一度にたくさん買うスタイルに変化してきました。

本展では、昭和初期から昭和30年代の「お店やさん」での、売り方や買い方、店舗形態などを紹介し、今とむかしのお店の違いを明らかにすることによって、くらしについて考えます。合わせて、同時期に買い物の場であった市場とデパートを紹介します。

## ■展示構成

### プロローグ

～『栄尋常小学校 弥彦旅行文集』から～

『昭和9年 栄尋常小学校 弥彦旅行文集』の旅行準備の買い物の様子や、「買い物調べ」から昭和初期の買い物について紹介します。

### 1. お店やさん

「お店やさん」のつくりや、はかり売りなどの売り方を紹介します。

### 2. お買い物

「お店やさん」での買い方やお買い物にまつわる道具を紹介します。

### 3. 市場

「お店やさん」と同じく、日用品の買い物の場所であった市場と、市場にも来ていた行商の売り方・買い方を紹介します。

**特集展示 雪売り** 雪売りを紹介します。

### 4. デパート

休日の楽しみ、デパートの魅力と、新潟におけるデパートの歴史を紹介します。

### エピローグ

郊外型大型店など店舗形態の変化や、エコバックなど新しい買い方を紹介します。



## ■関連たいけんプログラム

### 1. 「お店やさん」めぐり

みなとぴあ周辺にある「お店やさん」をめぐります。

日時: 9月18日(土)

①10:00～12:00 ②14:00～16:00

申込: 必要(締切9/10)

往復ハガキ、電子メールにて、①名前

②学年③住所④連絡先電話番号⑤希望する時間を記入の上、みなとぴあまで

定員: 各10名(小3以上)

参加費(おやつ代): 100円

### 2. お店やさんごっこ

はかりを使った売り買いなど、「お店やさん」での売り方・買い方を体験します。

日時: 11月6日(土)・7日(日)

14:00～15:00

申込: なし

定員: 小学生以上20名

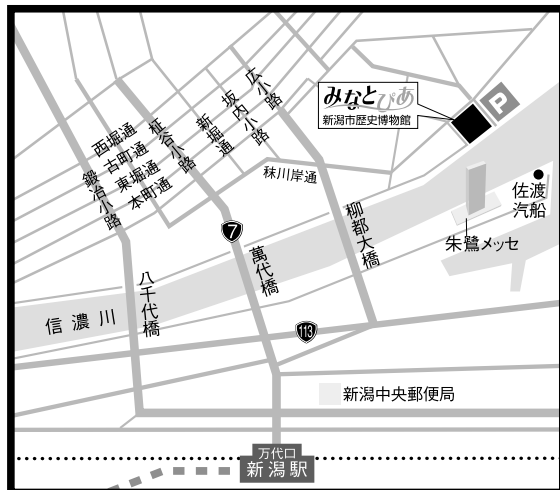
参加費: 無料

## INFORMATION

- 開館時間: 午前9時30分～午後6時(9月)  
午前9時30分～午後5時(10～12月)
- 休館日: 9/13(月)・21(火)・27(月)、10/4(月)・12(火)・18(月)・25(月)、11/1(月)・4(木)・8(月)・15(月)・22(月)・24(水)・29(月)

■交通案内 **観覧無料** (常設展の観覧は有料です)

- 新潟駅より:  
新潟市観光循環バス(犬夜叉号)で15分  
「歴史博物館前」バス下車すぐ  
新潟交通「昭和大桥・入船営業所」行きバスで25分  
「歴史博物館前」バス下車すぐ
- 車で:  
新潟バイパス紫竹山ICより約15分  
(無料駐車場あり)
- 信濃川ウォーターシャトルが敷地脇より発着



〒951-8013  
新潟市中央区柳島町2-10  
Tel: 025-225-6111  
Fax: 025-225-6130  
URL: <http://www.nchm.jp>  
E-mail: [museum@nchm.jp](mailto:museum@nchm.jp)

